

消火班のはたらき

平常時	発災時
①発災時出動マニュアルの作成研究 ②住民参加の消火訓練の計画立案 ③消防署市道の消火訓練の協力 ④小型動力ポンプ等消火機材の操作習熟 ⑤用具資機材等の保守点検 ⑥地域内の街頭消火器等の設置箇所の熟知 ⑦出火防止広報に関する活動 ⑧班員の発掘、勧誘、確保	①消火用具、機材を出して出動待機 ②消防水利・街頭消火器の点検 ③本部の指示に従い的確・迅速に行動 ④災害現場では、防災関係機関（特に消防機関）の指示に従って行動
南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」・「巨大地震警戒」 ①消火用具、機材を出して出動待機態勢 ②情報班等との協力で防火の呼びかけ	

消火班の役割は、地域の防災組織の目的そのものといってよいほど重要です。

出火⇒火災拡大が最も恐ろしいことであり、それを防ぐことが防災組織の最大の目的だからです。

初期消火体制の完成を目指すことが最も重要です。それには、単に消火技術・技能に習熟することだけでなく、地域内の地理地形に精通することや、消防水利や井戸など水のある場所などをよく知っておくことが大切です。

各地区にある街頭消火器の設置箇所・詰替え期限等を確認することも大切です。

特にメンバーに、若い人たちの参加を促す活動も重要なテーマです。

